

音 楽

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 表現領域の三つの分野及び鑑賞領域を、適宜、関連を図ることができるような内容、構成になっているか。
	(5) 表現及び鑑賞の活動を通して、共通事項を理解し、身に付けることができるような題材構成となっているか。
	(6) 我が国や郷土の伝統音楽に愛着をもち、理解を深めることができるよう工夫されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

音楽

観点	発行者	教 出	教 芸
<p>1 て、教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえ、豊かな人間性の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 内容及び教科構成が「教育の指針」となっているか。「教育の目的」に資しているか。「教育の目的」に資しているか。</p>	<p>・我が国や諸外国のさまざまな時代や曲種の楽曲を取り上げることで、幅広い音楽のもつ、多様なよさや面白さを感じ取り、豊かな人間性と情操を培うことができるよう配慮されている。</p>	<p>・身の回りの事象を教材化したり、音楽に合わせた身体表現や旋律の特徴を絵で表現する活動を取り入れたりすることで、児童が実感をもちながら音や音楽のよさを感じ取り、豊かな人間性と情操を培うことができるよう配慮されている。</p>
	<p>(2) い学習の自然にかつ、長崎の伝統文化や歴史を踏まえて</p>	<p>・4年「日本のお祭りをたずねて」では「長崎くんち」を、5年「日本の民ようをたずねて」では「のんのこ節」について取り上げており、ふるさとの音楽の特徴やよさを理解することで、郷土や日本の音楽への愛着や理解を深めることができるよう配慮されている。</p>	<p>・4年「ちいきにつたわる音楽に親しもう」では、「長崎くんちの龍踊」を取り上げており、ふるさとの音楽の特徴やそのよさを理解することで、郷土や日本の音楽への愛着や理解を深めることができるよう配慮されている。</p>

III 具体項目

音楽

観点	発行者	教出	教芸
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「音楽のもと」「音楽を表すいろいろな言葉」において、音楽を形づくっている要素を提示したり、鍵盤ハーモニカやリコーダーの導入期には、楽譜と巻末の運指表を見開きで見ながら運指確認ができるようにしたりすることで、表現及び鑑賞の学習に必要な知識・技能を確実に身に付けられるよう工夫されている。 歌唱表現の技能習得を目指した「スキルアップ」を設けたり、鍵盤ハーモニカの押し方や息を吹き込むときのポイントを分かりやすい言葉で説明したりすることで、表現における技能を確実に習得できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に、「ふり返りのページ」やリコーダーの運指表、音符・休符・記号・音階の一覧を設けており、各学年で学習した内容を振り返り、繰り返し練習することで、表現及び鑑賞の学習に必要な知識・技能を確実に習得できるよう工夫されている。 歌唱教材では、意識する視点を「見つける」「考える」「歌う」「歌声ルーム」として提示したり、鍵盤ハーモニカの導入期には、音の高さや長さ、強弱を視覚的に提示したりすることで、表現における技能を確実に習得できるよう工夫されている。
	<p>(2) 知識・技能を必要に応じて活用し、課題を解決する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「音のスケッチ」として、歌唱や器楽の技能と関連させた音楽づくりのコーナーを設定することで、実際に聴いたり歌ったりすることを通して、音楽づくりにおける思考、判断し、表現することの楽しさを味わうことができるよう工夫されている。 「まなびナビ」において、児童の気付きや思いを引き出し、互いに話し合ったり共有したりして、深い学びへとつながるような問いの例を示すことで、思考力、判断力、表現力等の育成を目指すことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 低学年では、生活の中から音を探し、見つけた音や楽器の音色を組み合わせて音楽づくりを行い、高学年ではこれまでに習得した知識・技能を生かして、言葉やリズム、打楽器のアンサンブルづくりを仕組むことで、発達段階に応じた学習内容を身に付けることができるよう工夫されている。 学習のねらいの達成に向けて、ナビゲーターのキャラクターによる吹き出しで、思考する視点を設定することで、言語活動の充実が図られ、課題を解決するための対話的な学びを促すよう工夫されている。
	<p>(3) 主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭には「学習マップ」や「学習の進め方」を、巻末には「『音楽のもと』まとめ」や「音楽を表すいろいろな言葉」を掲載することで、学習の目的や見通しが明確になるとともに、音楽を形づくっている要素を確認しながら主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 音楽ランドには、全校で合唱できる教材を掲載することで、ひとつの曲を歌う一体感や楽しさを味わうとともに、音楽を愛好する心情を育み、生活に音楽を生かすことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の巻頭と巻末には、それぞれ「学習マップ」「ふり返りのページ」を掲載することで、学習内容の見通しをもつとともに、学習内容を振り返りながら次の学習につなげるなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 日本の音楽に親しむ学習では、友達との対話を通して、さまざまな思いに触れることで、音楽を愛好する心情を育むとともに、生活に音楽を生かすことができるよう工夫されている。

III 具体項目

音楽

観点	発行者	教 出	教 芸
<p>2. 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 表現領域の三つの分野及び鑑賞領域を、適宜、関連及び構成することができるような内容になっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各題材内で、歌唱教材のページに関連した鑑賞教材を併せて掲載し、表現活動と鑑賞活動を効果的に組み合わせることで、学習がより深められるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 題材内において、歌唱や器楽などの表現活動と鑑賞の学習とを関連付けて設定することで、互いの学習内容がより深められるよう工夫されている。
	<p>(5) 表現及び鑑賞の活動を通して、共通事項を理解し、適切な身に付けているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 〔共通事項〕の音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」としてページ上部に示すとともに、3年生以上では、さらにメモ欄を設けることで、〔共通事項〕を意識しながら主体的に学習を深めることができるよう工夫されている。 音楽を形づくっている要素を軸として、音楽的な見方・考え方ができるような学習活動を配置することで、音楽の魅力を感じ取ったり、思いや意図を生かした表現の技能を身に付けたりできるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 見開き各ページ右下に、〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素を示すことで、表現及び鑑賞とのかかわりについて理解を深めることができるよう工夫されている。 「音楽を形づくっている要素」を中心に各教材を結び付けて題材を構成することで、気付いたり見付けたりした「音楽を形づくっている要素」を相互に関連・発展させながら身に付けることができるよう工夫されている。
	<p>(6) 我が国や郷土の伝統音楽に愛着をもち、理解を深めることができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統芸能や民謡、日本の楽器などに関しては、実際に演奏したり太鼓の口唱歌を唱えたりすることで、実感を伴って演奏や曲の特徴などに気付き、より親しむことができるよう工夫されている。 わらべうたや各地のお祭りの音楽やお囃子、民謡などを全学年にわたって豊富に掲載することで、伝統と文化の尊重や郷土を愛する心を育むよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統芸能や民謡、日本の楽器に関しては、活動内容を分かりやすく示すとともに、実際に音楽の一部を体験する活動などを加えることで、学習のポイントを押さえつつ、より親しむことができるよう工夫されている。 全学年の裏表紙に、小学生が各地で郷土の祭りや芸能に取り組み、それらを受け継いでいる写真を掲載することで、地域の文化や芸能に興味・関心をもち、親しみを感じられるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

音楽

観点	発行者	教 出	教 芸
<p>3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長</p>	<p>(1) 文章は、質・量・内容と豊かに記述しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動の流れや進め方を具体的に文章で示すことで、活動の進め方が分かりやすくなるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動のポイントを適宜改行を用いながら読みやすく示すことで、活動の進め方が分かりやすくなるよう配慮されている。
	<p>(2) 写真、挿絵、図表などは、学習効果にも十分に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子供をモデルとした写真を効果的に使い、活動の姿やイメージをもちやすくすることで、学習に対する興味・関心を引き出すよう配慮されている。 打楽器等の持ち方や奏法については、写真を使って巻末の折込ページにまとめたり、〔共通事項〕については、「『音楽のもと』まとめ」として各学年巻末にイラストや楽譜を使って分かりやすくまとめたりすることで、学習に効果的に生かせるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターを使って活動の様子を表すとともに、キャラクターの表情やしぐさを変えることで、児童の学習に対する興味・関心を引き出すよう配慮されている。 打楽器を用いる教材については、ページ内に持ち方や奏法について写真を掲載し、各学年巻末には「ふり返りのページ」として、〔共通事項〕を写真や図を入れて示すことで、学習に効果的に生かせるよう配慮されている。
	<p>(3) レイアウトや紙質、製本等に配慮されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容が感じ取れるような美しい写真を折込3ページで掲載するなど、折込ページを効果的に取り扱うことで、情景を想像したりイメージを広げたりしながら学習を進めていくことができるよう配慮されている。 学習のめあての重要な言葉を大きくしたり、色を変えたりすることで、見やすかつ意識しやすいよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙面デザインでは、白を基調として、区別しやすい配色を用いながら識別しやすいようにしたり、必要な情報に注目できるようシンプルなデザインにしたりすることで、より分かりやすくなるよう配慮されている。 紙面全体のレイアウトに統一感をもたせたり、題材のまとまりごとにインデックスを付けたりすることで、読みやすかつ検索がしやすいよう配慮されている。